

## 都市部企業における新型コロナウイルス感染症確定例の濃厚接触者 に対する健康観察結果について（速報）

港区みなと保健所

### 要約：

都市部大規模企業の社員等に新型コロナウイルス感染症確定例が確認された場合の濃厚接触者の調査や健康観察の状況について、2月に実施した4事例をまとめた。

所在地保健所による調査で対象となった濃厚接触者数は3～16人であり、健康観察期間中に症状が出現した者についてはPCR検査を実施したが、どの事例においても陽性者は確認されなかった。これは確定例との接触の程度について、ビジネスレベルでの接触はプライベートな付き合いの接触とは異なり、また、共有するオフィス内の環境状況も、家庭や飲食店とは異なることから、感染率が低かったのではないかと考えられた。

企業イメージを守るために過剰な対応を行う企業が多いが、過剰な対応は多くの一般の方に不安を与える可能性も高く、推奨されない。本報告のように、各保健所が実施している積極的疫学調査のうち、確定例の濃厚接触者における2次感染の有無等を情報提供していくことで、一般の方にも本疾患の性質を正しく理解してもらうことができるのではないかと考える。（2020年3月26日受理）

この報告に関する連絡先：港区みなと保健所

Email: [matsumoto-kayo@city.minato.tokyo.jp](mailto:matsumoto-kayo@city.minato.tokyo.jp)

### はじめに

2020年2月にみなと保健所が実施した、社員数が数百から千人規模の企業における、新型コロナウイルス感染症確定例（以下、確定例とする）の濃厚接触者の調査と健康観察について、3月6日現在で終了した事例をまとめたので、その結果や課題を報告する。

### 調査の概要

勤務する職員または委託契約業者の職員が確定例と診断された企業に対し、企業所在地を管轄する保健所として、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法とする）」15条に基づき訪問による積極的疫学調査を実施した。

学調査（2 時間程度）を実施した。

確定例の勤務状況、業務内容、最終出勤日、行動履歴、勤務先等の見取り図などによって、オフィスの換気状況、フロアーの状況、座席の配置等を確認し、主に飛沫感染を想定して濃厚接触者を決定した。

会議等対面で集まる機会の有無やその時間、参加者、ランチスタイルなどについても詳細に聞き取りを行った。また、調査時点での社内外への確定例に関する情報提供の内容と範囲を確認した上で、必要に応じ、個人情報に配慮しながら、同僚等からも情報収集を行い、濃厚接触者選定の参考とした。

企業の担当者へは、企業イメージを心配し濃厚接触者の範囲を広く取り過ぎることは多くの方の不安を与えるため、適切な範囲で決定していく必要があると説明し、確定例が実際に働いていた現場を共に視察しながら、濃厚接触者の範囲を検討した。また、接触感染予防のための消毒については、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム等による不特定多数が触れる場所（ドアノブやスイッチ等）の消毒を指導した。

保健所としては選定した濃厚接触者に最終接触後 14 日間の自宅待機を要請したが、企業の独自判断で濃厚接触者以外の職員やその同居家族にも自宅待機（在宅勤務）を実施していた企業もあった。

## 結果

各企業における濃厚接触者数は 3～16 人であった。濃厚接触者のうち、14 日間の健康観察期間中に発熱等を認めた者に対しては PCR 検査を行ったが、陽性者はいなかった（表）。また、それぞれの確定例について、勤務先以外の同居家族や友人等における積極的調査と濃厚接触者の健康観察も行われたが、いずれも 2 次感染は生じていなかった。

## 考察と課題

2 月に実施した大規模企業における濃厚接触者では、COVID-19 の二次感染を認めることなく健康観察期間が終了した。

今回の調査対象企業の業務形態はデスクワークが中心で、勤務中の行動範囲が限られており、少数の濃厚接触者の選定となったが、その中で症状等が出現し、検査対象となった者でも陽性者はいなかった。確定例との接触の程度について、ビジネスレベルでの接触はプライベートな付き合いの接触とは異なり、また、共有するオフィス内の環境状況も、家庭や飲食店とは異なることから、感染率が低かったのではないと思われる。

大手企業は、取引先がメディア関係や公官庁関係等であるといった立場上、企業として公表せざるを得ない状況があり、公表後、他の区内事業者からの問い合

わせが保健所に殺到したため、区公式ホームページ上に「企業等に対する新型コロナウイルス感染症のみなど保健所の調査について」1) を公開し、参考にしていただいている。一方、スポーツジムや興行場等については、一般利用者が多数存在することもあり、他の要素を加味しながら調査を行う必要があると考える。

連日マスメディアは新規確定例や重症患者を中心とした報道を行っているが、今後は、確定例の濃厚接触者における2次感染の有無や、確定例の転帰などの情報もあわせて情報提供していくことで、一般の方にも本疾患を正しく理解してもらうことができるのではないかと考える。(2020年3月6日現在)

参考：

1) 港区ホームページ 新型コロナウイルス感染症への対応について 「企業等に対する新型コロナウイルス感染症のみなど保健所の調査について」

<https://www.city.minato.tokyo.jp/hokenyobou/documents/kigyuu.pdf>

(2020年3月6日アクセス可能)

表：企業における濃厚接触者数の状況（企業以外の濃厚接触者は除く）

対象	社員総数 (人)	確定例の 主な業務	濃厚接触者 数(人)	PCR 検査実施 者数(人)	検査陽性者 数(人)
A社	約1,000	デスクワーク	14	2	0
B社	約1,500	運転業務	3	0	0
C社	約600	デスクワーク	16	1	0
D社	約7,000	デスクワーク	4	0	0